

2017 年度第 9 回支部集会【四国支部】

2017 年 12 月 16 日(土)12:00-17:10(受付開始 11:30)

愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟A 4階

主催:公益社団法人日本語教育学会 愛媛大学国際連携推進機構

後援:公益財団法人愛媛県国際交流協会

会場:〒790-8577 愛媛県松山市文京町 3 愛媛大学 城北キャンパス 共通講義棟A 4階

交通アクセス: <https://www.ehime-u.ac.jp/overview/access/johoku/>

キャンパスマップ: https://www.ehime-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/02/johoku_1.pdf

参加費: 無料

※ご参加予定の方は、なるべく[学会ウェブサイト](#)の「マイページ」から12月14日までに事前予約をお願いいたします。当日の手続きが簡素化されます。「新規ユーザ登録」をしても本学会への「入会」となるわけではありません。なお、当日参加も可能です。

◆支部集会日程◆

11:30	受付開始	【共 A45 教室前予定】
12:00-12:30	開会式	【共 A45 教室】
12:30-12:50	2017 年度日本語教育学会秋季大会参加報告会	【共 A45 教室】
12:55-13:55	現場から発信！四国の日本語教育研究事情	【共 A43 教室】
12:55-15:25	つながり作りの情報共有会－四国の日本語・国際交流ボランティアの活動－	【共 A45 教室, 他】
13:55-15:25	交流ひろば	【共 A44 教室】
15:30-17:00	講演	【共 A45 教室】
17:00-17:10	閉会式	【共 A45 教室】

開会式

【12:00-12:30 / 共 A45 教室】

- ・開会挨拶
- ・支部集会趣旨説明
- ・本日のプログラムの流れについて



2017 年度日本語教育学会秋季大会参加報告会

【12:30-12:50 / 共 A45 教室】

11月25日・26日に新潟市朱鷺メッセで開催された日本語教育学会2017年度秋季大会の参加報告会です。学会参加者が、支部集会に参加した皆様にどんな発表があったか、どんな話題があったか、どんな新教材があったか等を紹介します。

現場から発信！四国の日本語教育研究事情

【12:55-13:55 / 共 A43 教室】

四国各県が現場となっている日本語教育研究を県毎にブースで紹介します。

ブースを囲んでざっばらんに情報交換をしましょう。

- ・**徳島県** 「留学生対象の介護福祉士養成課程における、専門教育と日本語教育の協働の試み」
諸見里牧乃（鳴門教育大学大学院生）・小倉和也（四国大学）・元木佳江（同）
田中大輝（鳴門教育大学）
- ・**香川県** 「外国人住民の防災について考えるー地域・学校との連携を中心にー」
轟木靖子（香川大学）・山下直子（同）
- ・**高知県** 「高知県『やさしい日本語』防災パンフレットの再考」
小野ひより（高知大学大学院生）
- ・**愛媛県** 「日本語教室空白地帯での国際結婚移住女性向け漢字教室の試み」
新矢麻紀子（大阪産業大学）・向井留実子（東京大学）・棚田洋平（部落解放・人権研究所）
高橋志野（愛媛大学）

つながり作りの情報共有会

ー四国の日本語・国際交流ボランティアの活動ー

【12:55-15:25 / 共 A45教室, 他】

四国内の日本語活動や国際交流活動を通して在住外国人と関わっている組織や団体が、自分達の活動を紹介するポスターを作成しました。当日は自分達の活動紹介や広報だけでなく、お互いの情報を共有することで、四国内のネットワーク構築をめざしましょう。



交流ひろば

【13:55-15:25 / 共 A44 教室】

※「交流ひろば」は、日本語教育とその関連領域の話題についての参加者相互の情報共有および同じ興味や問題意識を持つ者同士のネットワーク作りを目的としています。審査を経た学会発表ではありません。

◆「反転授業導入による学習効果とその実践—「基礎日本語」の授業を実践例として」

張翀(中国・桂林理工大学)・相盼(愛媛大学特別聴講学生)・由大卫(同)

私は反転授業による学習効果の向上と授業実践について研究しています。同じような問題意識を持っている方、同じ研究をなさっている方と一緒に考えていきたいと考えています。興味のある方はぜひお越しください。実際に授業に参加した学生も参加するので、彼らからも直接感想が聞けます。

◆「上級以上と中級以下を簡便に判定する会話能力判定テストの開発と紹介」

立部文崇(徳山大学)

近年、日本で生活する外国人が生活者として市民権を得ていく中で、日本語が母語でない人が実際の生活場面で日本語を使ってどのようなことができるのかを端的に知りたいというニーズが地域の中でも高まっています。本出展では、日本語が母語でない人の会話能力について、上級以上と中級以下とを簡便に区別する会話能力判定テストを開発したので、その使用場面と使い方について説明をいたします。興味のある方はぜひお越しください。

◆「『にほんご町内会』活動紹介—交流による相互理解、日本語習得の場を目指して—」

宮田あゆみ(にほんご町内会)・菊池英恵(同)

在住外国人と日本人の交流広場「にほんご町内会」を松山市で開催しています。国や年齢、性別に関係なく誰でも参加でき、テーマに沿ったおしゃべりやアクティビティで交流を深めています。活動を始めて3年が過ぎ、積み上げてきたことも多くありますが、さまざまな課題も出てきました。来訪者の方々と意見を交わし、今後の活動の糧にしたいと考えています。

◆「学部留学生対象の日本語科目と初年次教育科目—ライティング教育をどうするか—」

中島祥子(鹿児島大学)

学士課程における初年次教育科目(必修)には、口頭発表やレポート作成など、学部留学生に対する日本語科目と重なる学習項目があります。学士課程における「質の保証」をふまえ、学部留学生必修の日本語科目をどのようにデザインし、実践しているのか、同じような授業を担当している方々と情報交換を行いたいと考えています。

◆「短期集中型初期適応クラス「サバイバルコース」の実践とその展開」

高橋志野(愛媛大学)・ルース・バージン(同)・菅野真紀子(同)・築地伸美(同)・林智子(同)

私達の所属機関では、毎学期初めに大学独自の2週間集中コースを行い、日本語学習経験0の留学生対象が生活上最低限必要な日本語を話したり聞いたりできるようになることを目指しています。今回は現在の教材等を見ていただきながら、いろいろな方と情報共有や意見交換をしたいと思います。興味のある方はぜひお越しください。



講演

【15:30-17:00／共 A45 教室】

「行動体験を通して一人一人に必要なことばを紡ぎだして

いく教室活動 ー豊田市での実践からー」

講師:衣川 隆生氏(名古屋大学)

活きたことばを身につける教室活動として、近年、行動・体験型の活動が各地で行われています。今回は、行動・体験の企画、準備、実施、そして、体験を教室に持ち帰り、学習者とボランティアが対話しながら、一人一人に必要なことばを紡ぎだしていく活動事例を紹介し、参加者の皆さんとその応用方法や今後の課題を考えていきたいと思えます。

閉会式

【17:00-17:10／共 A45 教室】

◆問合先◆公益社団法人日本語教育学会 支部活動委員会

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館 2F

TEL : 03-3262-4291 FAX : 03-5216-7552 E-mail : shibu@nkg.or.jp

※四国支部委員 : 高橋志野 (愛媛大学) E-mail : takahashi.shino.mm@ehime-u.ac.jp

